



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉

2023年05月08日 第1116号「週刊五十嵐レポート」

## 99%、70%、50%

日本企業の労働生産性が先進国の国々に比べて低いと叫ばれ続けてきた。5月3日、4日付日経新聞の「経済教室」欄は「中小企業政策の方向性」という2名の教授の論文だった。

日本の中小企業を表す数字として「99%」、「70%」、「50%」が用いられる。全企業に占める「中小企業の数」、「従業員数」、「付加価値額」の割合。日本企業の数とほぼ同じ400万人の中小企業経営者が、労働資源の7割を雇用して、国内総生産(CDP)の半分を生み出している。

裏を返せば、全企業の1%の企業(大企業)が30%の従業員数を雇用し、付加価値額50%を稼ぎ出している。労働生産性を比較すると、中小企業は付加価値額50%÷従業員数70%=71%。大企業は50%÷30%=166%。その差、2.3倍。データから見ると、日本経済の足を引っ張っているのは中小企業ということがわかる。但し、論文には、こうも書かれている。

中小企業の中で労働生産性の上位10%に位置する企業は、実は大企業の中央値よりも生産性が数十%高い。こうした優れた中小企業は様々な価値を生み出すための取り組みを続けながら、有形・無形の資本蓄積を進めており、結果として賃上げの実現も容易だ。

(中小企業、中堅企業、大企業の労働生産性の中央値はそれぞれ540万円、800万円、1099万円。中小企業の労働生産性の上位10%と下位10%の格差は非常に大きく、上位は1367万円と下位135万円と二極化している。)

心ある中小企業の経営者は、上位10%を目指す。労働生産性(=1人当り粗利益)は約1400万円。労働分配率を50%とすると、1人当りの人件費は700万円。では労働生産性を高めるにはどうしたらいいのか。

粗利益/人ー経費/人=経常利益/人。1人当りの粗利益を高め、1人当りの経費を下げれば、1人当りの経常利益はグンと良くなる。そんな都合の良い方法はあるだろうか。中小企業の上位10%の企業は知っている。

お客を知り、他社を知り、己を知る。己の強みを知り、磨きをかけ、お客に喜ばれ、評価される。これを続けていくと、上位10%にたどり着く。

ちょっと  
気になる出来事

5月7日付日経新聞、「生成AI『仕事で利用』2割」という記事。日本経済新聞社が読者2000人にアンケート調査したところ、仕事で使っている人は2割弱だった。興味があると答えたのは7割を超えた。

ちなみに、チャットGPTで「業績の良い会社の条件は？」と聞いてみた。「業績の良い会社の条件は以下のようなものがあります。1. 優れた商品・サービスの提供：市場のニーズに合った優れた商品・サービスを提供することが、業績の良さの基本的な条件です。高品質な商品・サービスを提供し、顧客からの評価を高めることが重要です。2. 健全な財務状況：業績の良い会社は、健全な財務状況を維持しています。適切なキャッシュフローの管理や負債の削減、適正な資金調達などが行われていることが多いです。3. 効率的な経営・運営：効率的な経営・運営によって、コスト削減や生産性の向上などが実現されます。生産工程の改善や生産ラインの最適化、社員の教育やトレーニング、社内システムの整備などが行われています。(以下省略)。ほんの数秒で箇条書き5項目が表れた。恐れ入った。人間の役割はそこからどのくらい深掘りできるか。脅威に感じるよりも利用して人間の能力を開発していくこと。



一口メモ  
知識

## 楽天知名(らくてんちめい)

天を楽しみて命を知る。故に憂(うれ)えず。

天の理法を楽しみ、自分の運命を生きる喜びを知るならば、人に憂いはない。

「楽天」と「知名」は同じ精神である。  
いかなる運命でも受け容れ、喜びを感謝して生きていく。  
これは、天の動き・情理を楽しむ精神である。

この言葉は、楽天家、楽天主義の出典である。  
易経は天の理法を学ぶ書。良く学んだなら、  
真の楽天家となりうるだろう。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5  
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

